

2 言葉の単位

教科書

P.30～P.34

制限時間

20分

合格点

80点

点

言葉の単位は、大きい順に、「文章」「段落」「文」「文節」「単語」に分かれます。

「文章」…1つの物語のように、文や段落がまとまったもの。

「段落」…文章中の、内容によるひとまとまりで、書き出しが一字分下がっているもの。

「文」…句点(。)から句点までのひと続きの言葉。

「文節」…文を不自然にならないように最小限に区切った単位。

「単語」…言葉の意味や働きで区切ったときの最小の単位。

文節は、(ね)をつけて区切ると見分けやすいですが、すべてが正確に分けられるとは限りません。

例) 今日友達の家遊びに行く。 → 今日(ね)/友達(ね)/家(ね)/遊び(ね)/行く(ね)。

言葉と意味を線でおすびましよう。(4点×5問=20点)

① 文章	・	・	文章中の、内容によるひとまとまり。
② 段落	・	・	文を不自然にならないように最小限に区切った単位。
③ 文	・	・	1つの物語のように、文や段落がまとまったもの。
④ 文節	・	・	言葉の意味や働きで区切ったときの最小の単位。
⑤ 単語	・	・	句点(。)から句点までのひと続きの言葉。

文節に分けましよう。(4点×10問=40点)

例	世界の国々を旅してきた。 世界の/国々を/旅して/きた。	①	また先生にしかられた。
②	友人と公園でテニスをした。	③	風船がふわふわと空を飛ぶ。
④	明日は雨が降ると思う。	⑤	庭の花壇に黄色い花が咲いた。
例	弟は切手をたくさん集めている。 弟は/切手を/たくさん/集めて/いる。	⑥	夜空に星がかがやいていた。
⑦	試しにピアノを弾いてみる。	⑧	今日は良いことをした。
⑨	困ったときは私に言ってください。	⑩	残さずに全部食べ切るべきだ。

単語に分けましよう。(4点×10問=40点)

例	夏に海へ出かける予定だ。 夏に/海へ/出かける/予定だ。	①	広い野原は気持ちがいい。
②	そろそろ母が帰る時間だ。	③	楽しい時間ほどすぐに過ぎるものだ。
④	兄はサッカーがとても得意だ。	⑤	庭の花がとてもきれいだ。
例	本屋で新しい本を買った。 本屋で/新しい本を/買った。	⑥	花をそっとつんで、家に持ち帰った。
⑦	妹と部屋の片づけをした。	⑧	白血病のためわずか三十歳で世を去りました。
⑨	この問題をしっかり解決しよう。	⑩	遠くの交差点まで競争しよう。

8 文の成分

教科書

P.62~P.81

制限時間

20分

合格点

80点

点

文の中での働き、文の成分をいいます。

主語 … 「何(誰)が」に当たる部分。

述語 … 「何だ」「どんなだ」「どうする」「ある(いる・ない)」に当たる部分。

修飾語 … 「何を・いつ・どこで・どのように」など、他の部分をより詳しく説明する部分。

接続語 … 前後の文や文節をつないで、いろいろな関係を示す部分。

独立語 … 他の部分とは直接関わりなく単独で働く部分。

下線部の文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

①	木の葉が <u>ゆらゆら</u> と揺れている。	②	私は、 <u>中学一年生</u> です。
③	<u>はい</u> 、私がそれをやります。	④	昨日、 <u>弟</u> が子犬を見つけた。
⑤	頭が痛かった。 <u>けれども</u> 、会社に行った。	⑥	彼らは <u>公園</u> で野球をしている。
⑦	風でろうそくの火が <u>消えた</u> 。	⑧	<u>田中先生</u> 、この問題を教えて下さい。
⑨	今日、 <u>友人</u> が家に遊びに来た。	⑩	寒いので、 <u>ストーブ</u> をつけた。
	主語		述語
			修飾語
			接続語
			独立語

下線部の連文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

①	<u>大きな熊</u> が、山を下りてきた。	②	小さな子供が <u>りにこにこ</u> 笑う。
③	会場は、 <u>多くの観客</u> でいっぱいだ。	④	<u>私の宝物</u> 、それは家族と友達です。
⑤	<u>時間があれば</u> 、図書館に行こう。	⑥	<u>日本代表チーム</u> が、金メダルをとった。
⑦	<u>今日という日</u> 、いつまでも忘れない。	⑧	家の庭で、虫が <u>鳴いている</u> 。
⑨	<u>山の向こう側</u> から朝日が昇る。	⑩	<u>急に雨が降った</u> ので、服がずぶぬれだ。
	主部		述部
			修飾部
			接続部
			独立部

主・述の関係 … 「何が～どうする」という関係。

例) 自動車が目の前を走った。

修飾・被修飾の関係 … 「どんな○○」という関係。

例) 庭にきれいな花が咲いた。

接続の関係 … 「～ならば」「～する時」「～なので」という関係。

例) 病気なので、学校を休む。

並立の関係 … 働きが同じものが並んでいる関係。

例) 畑の野菜が強く健康に育つ。

補助の関係 … 前の語の意味を補う関係。

例) 妹の様子を見に行ってみる。

棒線と波線の文節どうし関係を書きましょう。(3点×10問=30点)

①	今日は <u>父親も母親も</u> 休みだ。	②	明日 <u>雨ならば</u> 、図書館で <u>勉強</u> する。
③	暖かい <u>光</u> が、窓から <u>差し込む</u> 。	④	<u>大きな犬</u> が公園で <u>ほえて</u> いた。
⑤	部屋の明かりが <u>消えている</u> 。	⑥	<u>強く冷たい</u> 風が吹きつける。
⑦	小さい <u>猫</u> が庭に <u>いる</u> 。	⑧	<u>苦しかったけど</u> 、 <u>最後まで</u> <u>がんばった</u> 。
⑨	<u>すでに</u> 旅行の準備は <u>済んだ</u> 。	⑩	弟が <u>真剣</u> に本を <u>読んで</u> いる。
	主・述		修飾・被修飾
			接続
			並立
			補助

下線部の修飾語を受ける文節を、書き抜きましょう。(3点×10問=30点)

①	川上から <u>大きな桃</u> が流れてきた。	②	<u>遠く</u> に青い海が見える。
③	<u>正しい</u> 答えを思いついた。	④	雲が <u>ゆっくり</u> と空を進む。
⑤	<u>たいへん美しい</u> 絵がかかっている。	⑥	<u>水平線</u> の <u>かなた</u> に小さな鳥が見える。
⑦	わたしは <u>人の役に立つ</u> 仕事につきたい。	⑧	<u>朝早く</u> 起きるのは気持ちがいい。
⑨	<u>長年の研究</u> の成果が発表された。	⑩	<u>夜中の十時頃</u> 、その男は駅に到着した。

11 単語の分類

教科書

P.98～P.138

制限時間

20分

合格点

80点

点

名詞を体言、動詞・形容詞・形容動詞を用言といいます。

名詞 … 物事の名前を表す。

動詞 … 動作や変化、存在などを表す。

形容詞 … 状態や性質を表し、「い」で言い切る。

形容動詞 … 状態や性質を表し、「だ」で言い切る。

連体詞 … 体言を修飾する。

副詞 … 用言を修飾する。

接続詞 … 文や語句をつなぐ。

感動詞 … 感動・応答・呼びかけ・驚きなどを表す。

助動詞 … 用言や助動詞につく付属語。

助詞 … 体言・用言・助動詞・助詞につく付属語。

下線部の品詞を書きましょう。(2点×10問=20点)

①	最近、わたしの犬の様子が <u>おかしい</u> 。	②	お父さんに新しい <u>時計</u> を買ってもらった。
③	わたしの姉は毎日英語を <u>勉強する</u> 。	④	熱があった。 <u>だから</u> 、学校を休んだ。
⑤	<u>もしも</u> 、聞こえますか。	⑥	この辺りはとても <u>静かだ</u> 。
⑦	ハンドルを <u>しっかり</u> 握った。	⑧	<u>あの</u> 山を越えれば目的地に着く。
⑨	彼はブラジルから来た <u>そうだ</u> 。	⑩	夏休みに、家族と北海道へ <u>行った</u> 。

品詞の異なるもの一つずつ選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

①	犬・トマト・食べる・子供	②	読む・呼ぶ・広い・開ける
③	流れ・支え・思い・待つ	④	赤い・急に・うれしい・小さい
⑤	大きな・静かな・きれいな・豊かな	⑥	この・あらゆる・たいした・らしい
⑦	いわゆる・すぐに・ひたすら・もっと	⑧	けれども・だから・やがて・または
⑨	ああ・さあ・やはり・もしも	⑩	させる・たい・ない・に

体言には二重線、用言には波線をひきましょう。(2点×10問=20点)

①	花の <u>つぼみ</u> を <u>じと</u> 見 <u>つめ</u> た。	②	父は <u>とても</u> 楽 <u>しい</u> 人 <u>だ</u> 。
③	生き物を <u>飼</u> うのは大 <u>変</u> だ。	④	桜が <u>咲</u> く季節にな <u>っ</u> た。
⑤	将来の <u>夢</u> は保育士にな <u>る</u> こと <u>で</u> す。	⑥	昨日 <u>公園</u> に行 <u>っ</u> た。
⑦	あの <u>大きな</u> 犬は速く走 <u>る</u> 。	⑧	妹は来年中学生にな <u>る</u> 。
⑨	明日は <u>雨</u> が降 <u>る</u> と思 <u>う</u> 。	⑩	倉庫に <u>すずめ</u> が <u>巣</u> を作 <u>っ</u> た。

自立語はそれのみで一つの文節になれる単語です。助動詞と助詞以外が自立語です。

付属語はそれのみでは一つの文節になれない単語です。助動詞と助詞が付属語です。

各語群の品詞名を書き、自立語なら「自」、付属語なら「付」と書きましょう。(2点×10問=20点)

①	もしも、さあ、はい	②	話す、歌う、練習する
③	そして、やがて、しかし	④	美しい、楽しい、大きい
⑤	きれいだ、大変だ、大らかだ	⑥	本、アメリカ、もの
⑦	～だけ、～に、～と	⑧	大きな、この、そんな
⑨	ゆっくり、とても、たぶん	⑩	～ようだ、～ます、～れる

文中の単語から付属語を見つけて○で囲みましょう。(2点×10問=20点)

①	赤い花を見る。	②	公園に人がた <u>く</u> さんいる。
③	写真では絶対に味わ <u>え</u> ない。	④	昔の出来事 <u>が</u> 思い出される。
⑤	美しい歌が聞こ <u>え</u> てきた。	⑥	自然はかけが <u>え</u> のないものだ。
⑦	家の近くに小さな川がある。	⑧	星が美しく輝 <u>い</u> ていた。
⑨	すでに一学期の半ばとな <u>っ</u> た。	⑩	その学校はあの山のふもとに <u>あ</u> る。

73 品詞の見分け方

教科書	制限時間	合格点	点
P.172~P.179	20分	80点	

品詞は、名詞、動詞、形容詞、形容動詞、連体詞、副詞、接続詞、感動詞、助動詞、助詞の10種類です。

下線部の品詞を書きましょう。(3点×10問=30点)

① 最近、わたしの犬の様子が <u>おかしい</u> 。	② お父さんに新しい <u>時計</u> を買ってもらった。
③ わたしの姉は毎日英語を <u>勉強</u> する。	④ 熱があった。 <u>だから</u> 、学校を休んだ。
⑤ <u>もしも</u> 、聞こえますか。	⑥ この辺りはとても <u>静か</u> だ。
⑦ ハンドルを <u>しっかり</u> 握った。	⑧ <u>あの</u> 山を越えれば目的地に着く。
⑨ 彼はブラジルから来た <u>そ</u> うだ。	⑩ 夏休みに、家族と北海道へ <u>行</u> った。

助動詞の「ない」と形容詞の「ない」の違いは、「ぬ」に置き換えることが出来る「ない」が助動詞です。例)休まない→休まぬ

下線部の「ない」が助動詞である文を選び、記号で答えましょう。(2点×4問=8点)

① ア 今日の部活は <u>ない</u> 。	イ なかなか着か <u>ない</u> 。	ウ セリフが切 <u>ない</u> 。
② ア これはおいしく <u>ない</u> 。	イ 人数が少 <u>ない</u> 。	ウ どうしても動か <u>ない</u> 。
③ ア タクシーが来 <u>ない</u> 。	イ 責めるつもりは <u>ない</u> 。	ウ 妹はまだおさ <u>ない</u> 。
④ ア 教室には誰もい <u>ない</u> 。	イ 走るのが速 <u>ない</u> 。	ウ おしゃれがさりげ <u>ない</u> 。

形容詞と形容動詞の活用は、未然形(〜)、連用形(〜た)、終止形(〜。)、連体形(〜とき)、仮定形(〜ば)があります。

空欄に語幹と活用語尾を入れて、形容詞の活用表を完成しましょう。(5点×3問=15点)

	基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	仮定	命令	活用の種類
例	早い	はや	かる	かっ	い	い	けれ	○	○
①	赤い							○	○
②	美しい							○	○
③	新しい							○	○

空欄に語幹と活用語尾を入れて、形容動詞の活用表を完成しましょう。(5点×3問=15点)

	基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	仮定	命令	活用の種類
例	静かだ	しずか	だろ	だっ	だ	な	なら	○	○
①	豊かだ							○	○
②	大事だ							○	○
③	幸せだ							○	○

形容詞・形容動詞・連体詞は、体言(名詞)を修飾し、後に「もの」をつけると見つけられます。

例)形容詞 … 楽しいもの、形容動詞 … 静かなもの、連体詞 … おかしいもの

形容詞は言い切りの形が「い」になります。例)美しい、早い、大きい、やわらかい、青い

形容動詞は語尾が「な」にも「だ」にもなります。例)きれいな→きれいだ、静かな→静かだ、不思議な→不思議だ

連体詞は、最後が「の・な・た・る」で終わります。例)この、大きな、おかしな、たいした、ある

形容詞・形容動詞・連体詞の中から、下線部の品詞を選んで書きましょう。(4点×8問=32点)

① <u>どの</u> 道を通ればいいですか。	② <u>小さい</u> 女の子が泣いている。
③ 今日は波が <u>おだやか</u> だ。	④ <u>小さな</u> 村に神社があった。
⑤ 彼は <u>たいした</u> 人物だ。	⑥ 食料はこれで <u>十分</u> だろう。
⑦ 注射がとても <u>痛</u> かった。	⑧ <u>あらゆる</u> 可能性を考える。

2 言葉の単位

教科書

P.30～P.34

制限時間

20分

合格点

80点

点

言葉の単位は、大きい順に、「文章」「段落」「文」「文節」「単語」に分かれます。

「文章」…1つの物語のように、文や段落がまとまったもの。

「段落」…文章中の、内容によるひとまとまりで、書き出しが一字分下がっているもの。

「文」…句点(。)から句点までのひと続きの言葉。

「文節」…文を不自然にならないように最小限に区切った単位。

「単語」…言葉の意味や働きで区切ったときの最小の単位。

文節は、(ね)をつけて区切ると見分けやすいですが、すべてが正確に分けられるとは限りません。

例) 今日友達の家遊びに行く。→ 今日(ね)/友達(ね)/家(ね)/遊び(ね)/行く(ね)。

言葉と意味を線でおすびましよう。(4点×5問=20点)

① 文章		文章中の、内容によるひとまとまり。
② 段落		文を不自然にならないように最小限に区切った単位。
③ 文		1つの物語のように、文や段落がまとまったもの。
④ 文節		言葉の意味や働きで区切ったときの最小の単位。
⑤ 単語		句点(。)から句点までのひと続きの言葉。

文節に分けましよう。(4点×10問=40点)

例	世界の国々を旅してきた。 世界の/国々を/旅して/きた。	①	また先生にしかられた。 また/先生に/しかられた。
②	友人と公園でテニスをした。 友人と/公園で/テニスを/した。	③	風船がふわふわと空を飛ぶ。 風船が/ふわふわと/空を/飛ぶ。
④	明日は雨が降ると思う。 明日は/雨が/降ると/思う。	⑤	庭の花壇に黄色い花が咲いた。 庭の/花壇に/黄色い/花が/咲いた。
例	弟は切手をたくさん集めている。 弟は/切手を/たくさん/集めて/いる。	⑥	夜空に星がかがやいていた。 夜空に/星が/かがやいて/いた。
⑦	試しにピアノを弾いてみる。 試しに/ピアノを/弾いて/みる。	⑧	今日は良いことをした。 今日は/良い/ことを/した。
⑨	困ったときは私に言ってください。 困った/ときは/私に/言って/ください。	⑩	残さずに全部食べ切るべきだ。 残さずに/全部/食べ切る/べきだ。

単語に分けましよう。(4点×10問=40点)

例	夏に海へ出かける予定だ。 夏に/海へ/出かける/予定だ。	①	広い野原は気持ちがいい。 広い/野原は/気持ちが/いい。
②	そろそろ母が帰る時間だ。 そろそろ/母が/帰る/時間だ。	③	楽しい時間ほどすぐに過ぎるものだ。 楽しい/時間/ほど/すぐに/過ぎる/ものだ。
④	兄はサッカーがとて得意だ。 兄は/サッカーが/とても/得意だ。	⑤	庭の花がとてきれいだ。 庭の/花が/とても/きれいだ。
例	本屋で新しい本を買った。 本屋で/新しい/本を/買った。	⑥	花をそっとつんで、家に持ち帰った。 花を/そっと/つんで、/家に/持ち帰った。
⑦	妹と部屋の片づけをした。 妹と/部屋の/片づけを/した。	⑧	白血病のためわずか三十歳で世を去りました。 白血病/のため/わずか/三十歳/で/世を/去りました。
⑨	この問題をしっかり解決しよう。 この/問題を/しっかり/解決/しよう。	⑩	遠くの交差点まで競争しよう。 遠く/の/交差点/まで/競争/しよう。

8 文の成分

教科書

P.62~P.81

制限時間

20分

合格点

80点

点

文の中での働きを、文の成分をいいます。

主語 … 「何(誰)が」に当たる部分。

述語 … 「何だ」「どんなだ」「どうする」「ある(いる・ない)」に当たる部分。

修飾語 … 「何を・いつ・どこで・どのように」など、他の部分をより詳しく説明する部分。

接続語 … 前後の文や文節をつないで、いろいろな関係を示す部分。

独立語 … 他の部分とは直接関わりなく単独で働く部分。

下線部の文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

① 木の葉が <u>ゆらゆらと</u> 揺れている。	修飾語	② 私は、 <u>中学一年生</u> です。	述語	
③ <u>はい</u> 、私がそれをやります。	独立語	④ 昨日、 <u>弟</u> が子犬を見つけた。	主語	
⑤ 頭が痛かった。 <u>けれども</u> 、会社に行った。	接続語	⑥ 彼らは <u>公園で</u> 野球をしている。	修飾語	
⑦ 風でろうそくの火が <u>消えた</u> 。	述語	⑧ <u>田中先生</u> 、この問題を教えて下さい。	独立語	
⑨ 今日、 <u>友人</u> が家に遊びに来た。	主語	⑩ 寒いので、 <u>ストーブ</u> をつけた。	接続語	
主語	述語	修飾語	接続語	独立語

下線部の連文節の成分を、下から選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

① <u>大きな熊</u> が、山を下りてきた。	主部	② 小さな子供が <u>りにこにこ</u> 笑う。	述部	
③ 会場は、 <u>多くの観客で</u> いっぱいだ。	修飾部	④ <u>私の宝物</u> 、それは家族と友達です。	独立部	
⑤ <u>時間があれば</u> 、図書館に行こう。	接続部	⑥ <u>日本代表チーム</u> が、金メダルをとった。	主部	
⑦ <u>今日という日</u> 、いつまでも忘れない。	独立部	⑧ 家の庭で、虫が <u>鳴いている</u> 。	述部	
⑨ <u>山の向こう側</u> から朝日が昇る。	修飾部	⑩ <u>急に雨が降った</u> ので、服がずぶぬれた。	接続部	
主部	述部	修飾部	接続部	独立部

主・述の関係 … 「何が～どうする」という関係。

例) 自動車が目の前を走った。

修飾・被修飾の関係 … 「どんな○○」という関係。

例) 庭にきれいな花が咲いた。

接続の関係 … 「～ならば」「～する時」「～なので」という関係。

例) 病気なので、学校を休む。

並立の関係 … 働きが同じものが並んでいる関係。

例) 畑の野菜が強く健康に育つ。

補助の関係 … 前の語の意味を補う関係。

例) 妹の様子を見に行ってみる。

棒線と波線の文節どうし関係を書きましょう。(3点×10問=30点)

① 今日 <u>は</u> 父親も母親も休みだ。	並立	② 明日 <u>雨</u> ならば、図書館で勉強する。	接続	
③ 暖かい <u>光</u> が、窓から <u>差し込む</u> 。	主・述	④ <u>大きな犬</u> が公園でほえていた。	修飾・被修飾	
⑤ 部屋の明かりが <u>消えている</u> 。	補助	⑥ <u>強く</u> 冷たい風が吹きつける。	並立	
⑦ 小さい <u>猫</u> が庭に <u>いる</u> 。	主・述	⑧ <u>苦しかったけど</u> 、最後まで <u>がんばった</u> 。	接続	
⑨ <u>すでに</u> 旅行の準備は <u>済んだ</u> 。	修飾・被修飾	⑩ 弟が <u>真剣</u> に本を <u>読んで</u> いる。	補助	
主・述	修飾・被修飾	接続	並立	補助

下線部の修飾語を受ける文節を、書き抜きましょう。(3点×10問=30点)

① 川上から <u>大きな桃</u> が流れてきた。	桃	② <u>遠く</u> に青い海が見える。	見える
③ <u>正しい</u> 答えを思いついた。	答え(を)	④ 雲が <u>ゆっくり</u> と空を進む。	進む
⑤ <u>たいへん美しい</u> 絵がかかっている。	絵(が)	⑥ <u>水平線</u> の <u>かなた</u> に小さな鳥が見える。	見える
⑦ わたしは <u>人の役に立つ</u> 仕事につきたい。	仕事(に)	⑧ <u>朝早く</u> 起きるのは気持ちがいい。	起きる
⑨ <u>長年の研究</u> の成果が発表された。	成果(が)	⑩ <u>夜中の十時頃</u> 、その男は駅に到着した。	到着した

11 単語の分類

教科書

P.98～P.138

制限時間

20分

合格点

80点

点

名詞を体言、動詞・形容詞・形容動詞を用言といいます。

名詞 … 物事の名前を表す。

動詞 … 動作や変化、存在などを表す。

形容詞 … 状態や性質を表し、「い」で言い切る。

形容動詞 … 状態や性質を表し、「だ」で言い切る。

連体詞 … 体言を修飾する。

副詞 … 用言を修飾する。

接続詞 … 文や語句をつなぐ。

感動詞 … 感動・応答・呼びかけ・驚きなどを表す。

助動詞 … 用言や助動詞につく付属語。

助詞 … 体言・用言・助動詞・助詞につく付属語。

下線部の品詞を書きましょう。(2点×10問=20点)

①	最近、わたしの犬の様子が <u>おかしい</u> 。	形容詞	②	お父さんに新しい <u>時計</u> を買ってもらった。	名詞
③	わたしの姉は毎日英語を <u>勉強する</u> 。	動詞	④	熱があった。 <u>だから</u> 、学校を休んだ。	接続詞
⑤	<u>もしも</u> 、聞こえますか。	感動詞	⑥	この辺りはとても <u>静かだ</u> 。	形容動詞
⑦	ハンドルを <u>しっかり</u> 握った。	副詞	⑧	<u>あの</u> 山を越えれば目的地に着く。	連体詞
⑨	彼はブラジルから来た <u>そうだ</u> 。	助動詞	⑩	夏休みに、家族と北海道へ <u>行った</u> 。	助詞

品詞の異なるもの一つずつ選んで書きましょう。(2点×10問=20点)

①	犬・トマト・食べる・子供	食べる	②	読む・呼ぶ・広い・開ける	広い
③	流れ・支え・思い・待つ	待つ	④	赤い・急に・うれしい・小さい	急に
⑤	大きな・静かな・きれいな・豊かな	大きな	⑥	この・あらゆる・たいした・らしい	らしい
⑦	いわゆる・すぐに・ひたすら・もっと	いわゆる	⑧	けれども・だから・やがて・または	やがて
⑨	ああ・さあ・やはり・もしも	やはり	⑩	させる・たい・ない・に	に

体言には二重線、用言には波線をひきましょう。(2点×10問=20点)

①	<u>花</u> の <u>つぼみ</u> をじっと <u>見つめた</u> 。	②	<u>父</u> はとても <u>楽しい</u> <u>人</u> だ。
③	<u>生き物</u> を <u>飼う</u> のは <u>大変だ</u> 。	④	<u>桜</u> が <u>咲く</u> <u>季節</u> に <u>なった</u> 。
⑤	<u>将来</u> の <u>夢</u> は <u>保育士</u> に <u>なる</u> <u>こと</u> です。	⑥	<u>昨日</u> <u>公園</u> に <u>行った</u> 。
⑦	あの大きな <u>犬</u> は速く <u>走る</u> 。	⑧	<u>妹</u> は <u>来年</u> <u>中学生</u> に <u>なる</u> 。
⑨	<u>明日</u> は <u>雨</u> が <u>降る</u> と <u>思う</u> 。	⑩	<u>倉庫</u> に <u>すずめ</u> が <u>巣</u> を <u>作った</u> 。

自立語はそれのみで一つの文節になれる単語です。助動詞と助詞以外が自立語です。

付属語はそれのみでは一つの文節になれない単語です。助動詞と助詞が付属語です。

各語群の品詞名を書き、自立語なら「自」、付属語なら「付」と書きましょう。(2点×10問=20点)

①	もしも、さあ、はい	感動詞	自	②	話す、歌う、練習する	動詞	自
③	そして、やがて、しかし	接続詞	自	④	美しい、楽しい、大きい	形容詞	自
⑤	きれいだ、大変だ、大らかだ	形容動詞	自	⑥	本、アメリカ、もの	名詞	自
⑦	～だけ、～に、～と	助詞	付	⑧	大きな、この、そんな	連体詞	自
⑨	ゆっくり、とても、たぶん	副詞	自	⑩	～ようだ、～ます、～れる	助動詞	付

文中の単語から付属語を見つけて○で囲みましょう。(2点×10問=20点)

①	赤い花 <u>を</u> 見る。	②	公園 <u>に</u> 人 <u>が</u> たくさん いる。
③	写真 <u>で</u> <u>は</u> 絶対に 味わえ <u>ない</u> 。	④	昔 <u>の</u> 出来事 <u>が</u> 思い出さ <u>れる</u> 。
⑤	美しい歌 <u>が</u> 聞こえ <u>て</u> き <u>た</u> 。	⑥	自然 <u>は</u> かけがえ <u>の</u> ないもの <u>だ</u> 。
⑦	家 <u>の</u> 近く <u>に</u> 小さな川 <u>が</u> ある。	⑧	星 <u>が</u> 美しく輝い <u>て</u> いた <u>た</u> 。
⑨	すでに 一学期 <u>の</u> 半ば <u>と</u> なっ <u>た</u> 。	⑩	その 学校 <u>は</u> あの山 <u>の</u> ふもと <u>に</u> ある。

73 品詞の見分け方

教科書	制限時間	合格点	点
P.172~P.179	20分	80点	

品詞は、名詞、動詞、形容詞、形容動詞、連体詞、副詞、接続詞、感動詞、助動詞、助詞の10種類です。

下線部の品詞を書きましょう。(3点×10問=30点)

① 最近、わたしの犬の様子が <u>おかしい</u> 。	形容詞	② お父さんに新しい <u>時計</u> を買ってもらった。	名詞
③ わたしの姉は毎日英語を <u>勉強する</u> 。	動詞	④ 熱があった。 <u>だから</u> 、学校を休んだ。	接続詞
⑤ <u>もしも</u> 、聞こえますか。	感動詞	⑥ この辺りはとても <u>静かだ</u> 。	形容動詞
⑦ ハンドルを <u>しっかり</u> 握った。	副詞	⑧ <u>あの山</u> を越えれば目的地に着く。	連体詞
⑨ 彼はブラジルから来た <u>そ</u> うだ。	助動詞	⑩ 夏休みに、家族と北海道 <u>へ</u> 行った。	助詞

助動詞の「ない」と形容詞の「ない」の違いは、「ぬ」に置き換えることができる「ない」が助動詞です。例)休まない→休まぬ

下線部の「ない」が助動詞である文を選び、記号で答えましょう。(2点×4問=8点)

① ア 今日の部活は <u>ない</u> 。	イ なかなか着か <u>ない</u> 。	ウ セリフが切 <u>ない</u> 。	イ
② ア これはおいしく <u>ない</u> 。	イ 人数が少 <u>ない</u> 。	ウ どうしても動か <u>ない</u> 。	ウ
③ ア タクシーが来 <u>ない</u> 。	イ 責めるつもりは <u>ない</u> 。	ウ 妹はまだおさ <u>ない</u> 。	ア
④ ア 教室には誰もい <u>ない</u> 。	イ 走るのが速 <u>ない</u> 。	ウ おしゃれがさりげ <u>ない</u> 。	ア

形容詞と形容動詞の活用は、未然形(〜)、連用形(〜た)、終止形(〜。)、連体形(〜とき)、仮定形(〜ば)があります。

空欄に語幹と活用語尾を入れて、形容詞の活用表を完成しましょう。(5点×3問=15点)

	基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	仮定	命令	活用の種類
例	早い	はや	かる	かっ	い	い	けれ	○	○
①	赤い	あか	かる	かっ	い	い	けれ	○	○
②	美しい	うつく	かる	かっ	い	い	けれ	○	○
③	新しい	あたらし	かる	かっ	い	い	けれ	○	○

空欄に語幹と活用語尾を入れて、形容動詞の活用表を完成しましょう。(5点×3問=15点)

	基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	仮定	命令	活用の種類
例	静かだ	しずか	だる	だっ	だ	な	なら	○	○
①	豊かだ	ゆたか	だる	だっ	だ	な	なら	○	○
②	大事だ	だいじ	だる	だっ	だ	な	なら	○	○
③	幸せだ	しあわせ	だる	だっ	だ	な	なら	○	○

形容詞・形容動詞・連体詞は、体言(名詞)を修飾し、後に「もの」をつけると見つけられます。

例)形容詞 … 楽しいもの、形容動詞 … 静かなもの、連体詞 … おかしいもの

形容詞は言い切りの形が「い」になります。例)美しい、早い、大きい、やわらかい、青い

形容動詞は語尾が「な」にも「だ」にもなります。例)きれいな→きれいだ、静かな→静かだ、不思議な→不思議だ

連体詞は、最後が「の・な・た・る」で終わります。例)この、大きな、おかしな、たいした、ある

形容詞・形容動詞・連体詞の中から、下線部の品詞を選んで書きましょう。(4点×8問=32点)

① <u>どの</u> 道を通ればいいですか。	連体詞	② <u>小さい</u> 女の子が泣いている。	形容詞
③ 今日は波が <u>おだやかだ</u> 。	形容動詞	④ <u>小さな</u> 村に神社があった。	連体詞
⑤ 彼は <u>たいした</u> 人物だ。	連体詞	⑥ 食料はこれで <u>十分だ</u> ろう。	形容動詞
⑦ 注射がとても <u>痛</u> かった。	形容詞	⑧ <u>あらゆる</u> 可能性を考える。	連体詞